

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 愛川舜寿会	代表者	理事長 馬場 拓也	法人・ 事業所 の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・共生、寛容、自律の法人理念大切にし、地域の人びとと、ケアを起点としたコミュニティを再構築し「社会をやさしくする」を目指します。 ・「介護する」「介護される」の関係でなく、ご本人ができること、できる可能性があることに目を向け、持っている能力を活かし、自分らしさを再発見できるよう支援していきます。 ・認知症グループホーム、放課後等デイサービス、就労支援事業による洗濯代行とコインランドリー営業、コロッケスタンドや清掃など、福祉と地域の人たちの距離を近づける福祉拠点で今の自分に何ができるのかを一緒に考え、地域での暮らしの中で自分の役割や生きがいとなる居場所を見つけ、その人らしい生き方を支えていきます。
事業所名	KCC ショータキ	管理者	小澤 妙子		
運営推進会議での評価 実施日		令和 7年 2月 26日			

出席者	市区町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	1人	1人	人	人	4人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・心に余裕を持ち行動する。慌ただしさを出さず、一呼吸おいて次の行動に移る。 ・月に一度の会議で内容の見直しや勉強会を定期的に行いスキルアップに繋げていく。 	<p>地域の公園やお店や図書館、資料館等あらゆる社会資源を活用し個々のニーズの実現ができるよう提供できている。</p> <p>ご本人、ご家族が随時相談できる体制が整っており、必要に応じて臨機応変にサービス提供できている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・こんな自由に活動させてくれるところは他にないので楽しいのでずっとサービスを利用していきたい ・KCCでは子連れ出勤可としている事に対して赤ちゃんが居ると雰囲気良く好きだから良いのだが、その分職員の仕事が増えているのではないかと感じる。職員が大変なんじゃないか？ →KCCでは乳児の子連れ出勤は初めての試みでの受け入れをしている。今回は期間が11月～3月と決まっていたこともあるが、今後も働き方改革や若い人材確保の為に継続していく方針。職員間でも協力体制をお願いしていく。 	<p>職員の確認ミスによるヒヤリハットが多い事から行動を移す前に再確認と周囲の職員の声を掛け合うよう努める。</p>

<p>B. 事業所の しつらえ・環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・時間によって利用の仕方或利用する人の整理をする。 ・促がせる声掛けをしていく。 ・メッセージボードなどの活用をしていく。 	<p>春日台センターセンターは誰でも入れる施設として沢山の方に利用して頂いている。 2階の足音が1階に響く為、走らないように声をかけると共に16:00 からサイレントタイムとして静かに利用する時間を設けた事で子供達だけでなく、試験勉強に来る学生や読書などをする方が利用できるようになり、多世代で活用できる場所となった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・にぎやかすぎるのもっと強く注意しても良いと思う。 ・他の施設は受付しないと入れなかったり勝手に出入りが出来ない。ここは自由すぎるくらい自由に出入りが出来る。 ・車いすでの洗面所が使いにくい。手が届かないし車いすごと入れる場所が限られている。 	
<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から春日台センターセンターに来られた方に対して笑顔で挨拶する。 ・地域交流を引き続き深められるよう行事へ積極的に参加していく。 	<p>地域の方がお困り事の相談に来られる事も多々あり、各関係機関につないだり、介護認定の代行申請などを行っている。 気にかけて方が良いと思われる地域の方は職員間で共有し声をかけ、状況に応じて行政へ相談している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームを併設しており入居者が遊びに来るが、その入居者が生活しているうえでの相談をしてくるが、全てを真に受けていいのか。 →様々な病気を持っている方が暮らしている。その方の心理的状况にもよると思うので、話があったら職員に知らせてほしい。 	<p>利用者様の病気によって現実と非現実の区別がつかない心理状況の方との会話となる場合は職員が間に入ってケアしていくと共に GH とショータキの職員で情報共有し改善につなげていく。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して地域資源を最大限に活かし暮らしを支えていく。 ・春日台センターセンターには地域の方が多くいらっしゃり、小さな怪我から体調不良発症者、迷子等の相談事は随時対応を行っているので、ここでできる事を精いっぱい行っていく。 	<p>地域のイベントには広報などで情報をとり積極的に参加している。 施設が地域共生文化拠点となっており、毎日赤ちゃんから高齢の方まで自由に出入りしており、怪我した等の処置やお困り事の相談が来た場合は関係機関に繋げるなど対応できている。</p>	<p>特にありません。</p>	
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>今後も運営推進会議にて活動の報告を行っていく。</p>	<p>自治体のイベントや美化活動等に参加している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・愛川町役場や春日台地区の困りごとケースを会議に持ち込んで頂き、検討していきたい。 ・民生委員としては個人情報の観点から、なかなか会議に出すというのは難しい。 	<p>地区や行政のイベントの予定など運営推進会議で情報共有する時間を設ける。</p>

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>防災、災害対策計画書をご利用者様、ご家族様用に作成し、お渡ししていく。</p>	<p>春日台センターセンターでは年2回防災避難訓練を実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に訓練する事の周知はしていませんが、当日に来られている地域の方には参加して頂いています。 ・自治体の防災訓練にも参加している。 ・事業所の防災計画の配布については見直し等が必要となっている為、利用者様用の計画書がまだ配布できていないのが現状である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄倉庫はどうなっているのか？ <p>→少しずつ購入をしている状況。</p>	<p>足りない備品を早急に揃え、有事の際に備える。</p>
----------------------------	--	--	---	-------------------------------